

いつもお世話になっております。今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます

暑さ寒さも彼岸まで・・・という言葉もどこへやら、とても寒い春分を迎えた大阪です。

それでも力強い昼間の光は冬の終わりをつげ、小鳥のさえずりも喜びの賛歌を歌っているようです。

みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

3.11の東北の震災からあっという間に1年がすぎました。

被災された方々にとってこの一年がどのような日々だったのか、余震も放射能の影響もない関西に住む私には想像にも及びません。

それでも震災で得た教訓を活かし、万一の災害時にいち早く事業を復旧出来る様、弊社ではBCP策定準備を進めています。

一番に考えることは、「何が一番たいせつで、何を守るべきか」ということです。

備蓄や避難用品を完璧に準備していても、命がなければ役にたちません。とにかく命を守ることが一番たいせつだと再認識しました。

BCP策定のためにあれこれ考えて思ったことがあります。

地震が怖いというよりも、地震が起きて

当たり前にあることがなくなってしまうかもしれない。

不便を強いられるかもしれない。

仕事が無くなるかもしれない・・・と思うことが怖い。

怖れというのは「・・・かもしれない」という想像の中にあるのですね。

わたしたちが一番欲しいのは安心なのかもしれません。

怖れというのは、考え始めると次々わきあがってきます。際限なくもっと怖い状況を想像してしまいます。

今この場所が完璧に安全だとしても、怖い想像に埋没すれば心はさまよい、「今この瞬間の幸福」を見出すことができません。そして、「そうならないかもしれない」という可能性を忘れてしまうようです。怖れを増長させず、「安心を得るために何が必要だろうか？」と冷静に考えたいと思います。

今日も地球と共に在ることを喜び、そして万が一の時に

「でも大丈夫、なんとかできる」という気持ちを持てるような自分で在れる様、日々努めたいと思います。

地震は地球が生きている証、それを止めることはできません。

なるべく被害が少なく、軽やかに通り過ぎますように。

こころを傷めておられる方々がすこしでも安らぎますように。

どうか、日々より善い方向にすすみますように。

我々が、いつもより善い選択ができますように。

皆様がすてきな春の時間をお過ごしになりますようにお祈りいたします。



ほほひと月遅れて  
ようやく満開になった  
大阪城の梅林  
かすかに漂う梅花の香りを  
胸いっぱい吸い込むと  
身体中の細胞に  
スイッチが入るようでした

株式会社ユニコーン  
大阪市中央区大手通 1-1-2  
TEL06-6943-4560  
FAX06-6920-5311